

2022年8月30日

さあ、2学期がはじまりました。

『気になる子』は、どうですか？

さて、夏休み明け、みなさんの学級や学年の子どもたちはどうですか？ みんな元気に再会できたでしょうか？ また、始業式後の2学期の『学級開き』はどうでしたか？ これ、意外と大事なんですよ。うまくいかなかった人は、改めて時間をとって「こんなクラスにしたい！」って、担任としての思いを語られたらと思います。それから、先生自身の夏休みの体験談も。これは子どもたちも楽しみにしています。（そこから2学期の話につなげていくのが先生の力量ですよ。）

それから、学校の宿題の提出状況はどうでしょう？ 要領のいい先生は、1週間ほど前から子どもの家に集めに回ったり、あるいは「学年登校日」を設けて宿題集めをするという手もあります。（ちょっとでも早く宿題を集められたら、休み中にゆっくり点検できるんですよ。）まあ、今回うまくいかなかったとしても、来年はそんな要領も覚えておいていただけたらと思います。（全部集めるのではありません。できた分だけでいいんです。こうすると、とにかく忙しい学期初めが「楽」になるんです。）

一方で「気になる子」はどうですか？ 学級や学年の特に課題の重い子の様子はどうか？ 長かった休み中の情報は入っていますか？ 「何も変わったことはなかっただろうか？」などと、いろいろ心配することもあるかと思います。私は、かつて中学の担任をしていた時は休み明けの初日に班長会議を開いて情報収集に努めたものです。（当時、子どもたちは一緒に遊んだりして、結構情報を持っていました。）また、私は若い頃、「子どもの姿が見えんようになったら、家へ行け。」と、先輩の先生に教えられていました。ヤキモキ気にするようなら、家庭訪問をして本人（いなければ、家族でもOK）に話をするのが一番です。不安の中で新学期のスタートを切るぐらいなら、今日にでも子どもの家（うち）をちょっとのぞいてみるのもいいのでは？（中学校では、だいたい学校が始まって1週間ぐらいして生徒指導の事案が次々出てくるというパターンがあります。）何かが起こってからの「後追い」の生指より「先打ち」、これが基本ですよ。

さあ、2学期のスムーズな始動に向けて、まずは子どもたちの現状把握を教職員間でしっかり共有することからですね。

お願い

休み明け、子どもたちは不安定になりがちです。子どもたちの不登校が増えたり、自殺率が一番高くなるのもこの時期です。「あれっ」と思う子がいたら、躊躇（ちゅうちょ）せず、みなさんからの声かけや、管理職や生指、教育相談担当などの先生へ伝えてください。その一歩が『チーム学校（園）』の教育を進めます。どうぞよろしくお願いいたします。